

2011年 民主党千葉市議会議員団のお約束

—ローカル・マニフェスト—

熊谷市長とともに、新しい千葉市政をつくります。

千葉市は、政令指定都市の中でも最も厳しい財政状況にあります。過去の財政運営のツケを払ってゆかねばなりません。熊谷市長はこの難局を乗り切るため、「脱・財政危機宣言」を発し、本格的な財政再建への第一歩を踏み出しました。また、市政を取り巻く環境は、地域主権改革、少子化・高齢化の急速な進行、市民ニーズの高度化・多様化などにより、近年大きく変化しています。

この中にあっても、私たちが目指す「市民生活が第一」という観点から、市民の生活環境を改善してゆく施策を着実に進めてゆく必要があります。

このため、私たちは「市役所」と「議会」の改革そして「財政の再建」に取り組みます。

そして「市民生活が第一」の施策をおこないます。

市役所改革

1. 区役所を「地域のまちづくり」の拠点に！

区役所が窓口サービスの提供にとどまらず、市民に身近な地域の課題を区役所が中心となって解決できる体制をつくります。そのために、区長・区役所の機能・権能の強化を図ります。

- ① 学校区等を基本単位とする地域担当制を導入し、地域課題にきめ細かく対応できる体制・仕組みをつくります。そして地域の市民が主体となる「まちづくり」を進めます。
- ② 担当局が実施する事業に対し、区長意見を反映する仕組みをつくとともに、予算に関する区長権限(予算要求)を強化し、地域ニーズに的確に対応したまちづくりを進めます。

2. ムダをなくし効率的な市政運営を！

市有施設、未利用地の有効活用、老朽化対策、維持管理費の縮減等について全庁横断的な取り組みによる効率的な市政運営を進めます。また、行政ニーズに合わせた組織体制の見直しと少数精鋭体制による組織のスリム化を進めます。

そのためにも、縦割り行政の弊害を取り除くために、全庁横断的視点で取り組むことのできる組織づくりを目指します。

3. 市民の期待に応えられる人材育成を！

地域主権改革が進められ、市独自の責任と権限に基づくまちづくりが求められています。

そこで市役所と仕事を変革できる職員の育成を図ります。また、良質な公共サービスが提供できるよう、職員の待遇向上をはじめとし、真に市民視点に立って考え・行動できる職員の育成を図ります。

4. 情報公開を徹底し、誰もが市政に参加しやすい環境づくりを！

市民の皆さんが誰でも積極的に意見を言い、提案型の市政参加ができる環境づくりのためにも、情報公開ランキング全国1位を実現します。

議会改革

1. 議会基本条例の制定

議会と議員の役割、市民参加の拡大、議員間討議の推進などを明確に規定する議会基本条例を制定します。

① 議会の会期を通年制にすることを視野に（現状年4回の定例会）、必要なときに議会を開催できるように改め、十分な審議日程を確保します。

② 政策課題について、議員間で討議する場を設定し、議員相互の討議を中心とする議会運営を目指します。

③ 政策立案等の過程で、市民等の意見を聞くため、参考人制度及び公聴会制度を積極的に活用します。

④ 各区において、議会報告会を開催し議会・議員の説明責任を果たします。

2. 議員定数・報酬の見直しをするために検討委員会を設置し、削減に取り組めます。

3. 市民が要望する政策課題に対応するため、議員発議による条例提案を積極的にここないます。

財政の再建

1. 早期健全化団体への転落を回避し、未来に責任を持てる財政基盤を確立するため、1兆800億円にもものぼる市債発行残高の圧縮を図ります。そのために、建設事業の厳選や公共工事のコスト縮減により市債発行を抑制します。

2. 徹底的な事務事業の見直し（千葉市版事業仕分等）、人件費の削減等による歳出削減策を進めます。

3. 14の外郭団体の整理・統合を進めます。

4. 未利用地の売却や有償貸付等による財源の確保を図るために、市有資産の

有効活用を図ります。

5. 全庁横断的に取り組むことのできる改革推進組織をつくり、ムダのない効率的な組織運営を行うために行財政改革を進めます。

「市民生活が第一」の重点政策

1. 子育て

- 1) 義務教育終了までの入通院費無料を目指し、当面小学校卒業までの通院費を無料にします。(現在、入院費は中学卒業まで、通院費は就学前まで、無料)
- 2) 保育所(園)・子どもルームの待機児童を解消するための施設整備を着実に実行するとともに、幼稚園・保育園の一体化をよりいっそう進めます。

2. 教育

- 1) 小中学校の35人学級化を進めます。
- 2) スクールカウンセラーを小学校にも配置し、子どもたちのSOSを早期に発見し対応します。
- 3) 特別支援教育の充実を図ります。
- 4) 地域との連携を深め、地域と一体となった学校運営を目指します。

3. 福祉

- 1) 市内における「孤独死」ゼロを目指し、高齢者が安心して暮らせる支え合いのある地域づくりのため、自治会、社会福祉協議会地区部会、民生委員とのさらなる共同作業をおこなっていきます。
- 2) 特別養護老人ホーム等高齢者用施設の整備を進めてゆきます。
- 3) 障がい者が安心して暮らせるまちづくりを進めるため通所施設等のいっそうの整備をおこないます。
- 4) 安心ケアセンターの機能の充実を図るとともに、増設を行います。

4. 安全・安心

- 1) ゲラ豪雨対策等の自然災害に対する備えに取り組みます。
- 2) 地域における防犯対策等、安全・安心の取り組みを積極的に支援します。
- 3) 振り込め詐欺、高額商品の訪問販売等消費者の被害を防止する為消費生活センターの充実を図ります。また、職員増を図り相談体制を充実させます。

5. 環境

- 1) 自然環境を守るため、「市民緑地」の制定、「里山保全」等に積極的に取り組みます。
- 2) 産業廃棄物の不法投棄・処理の監視体制を強化します。
- 3) ごみ1/3削減策を強化するとともに、CO2排出削減に取り組みます。

6. 産業

- 1) 先端企業等の誘致を推進し、雇用の創出・市税収入の確保を図ります。
- 2) 地域での「朝市」や「B級グルメ」を推進し、まちおこしを積極的に進めます。
- 3) 中小企業への支援制度を充実させ、市内経済の活性化と地元での雇用の確保に取り組みます。
- 4) 地産地消の推進、新規就農対策を強化するとともに、千葉市産の特産品の充実と拡大をはかり、市内農業の活性化に取り組みます。

資料編

1. 市債残高の推移
2. 実質公債費比率の推移、将来負担比率の推移
3. 基本条例等制定状況（政令市の状況）
4. 子ども医療費助成制度の状況（千葉市、他市）
5. 保育所数・待機児童数の推移
6. 特別養護老人ホームの整備状況

4年間の活動結果のご報告

2007年の統一地方選挙 民主党の目指す千葉市政

“夢ある明日の千葉市政のために” 民主党のお約束

民主党は、2007年の統一地方選挙・千葉市議会議員選挙に当たり、市民の皆様へのお約束として“夢ある明日の千葉市政のために” 民主党の目指す千葉市政「ローカルマニフェスト」を発表し、選挙戦に臨みました。

その結果、公認候補の全員当選という大きなご支援を頂きました。私たちは、そのお約束を実現するため、この4年間力を尽くして議会活動、地域活動に励んで参りました。

以下、その活動結果（概要）をご報告申し上げ、率直なご指摘、ご意見を頂くとともに、2011年の統一地方選挙・千葉市議会議員選挙でのご支援ご協力をお願い申し上げます。

千葉市政に対する基本姿勢

2007年4月の千葉市議会議員選挙にあたり、民主党千葉市支部協議会・千葉市政対策部会は、市民の皆様が安心して安全に暮らせるまち、全国に誇れる千葉のまちづくりをめざし、千葉市政に対する基本姿勢を明らかにし、以下の課題を実現するため全力で取り組むことをお約束いたしました。

1 「市民が真ん中」の市政改革をめざします。

2 市民に近い現場で、市民の声が直接届き、実現する「区役所分権」をめざします。

3 「市民満足度」100%の市政をめざします。

<実績>

「熊谷俊人市長」を実現しました。

2009年6月の市長選挙で、民主党が中心となり市民団体等と共闘し、これまでの千葉市政が「助役から市長」という天下りの官僚市政が続いてきた中で、それを断ち切り、政令指定都市で最も若い熊谷俊人市長を実現しました。

熊谷市長は、「脱・財政危機宣言」を発表し、モノレール延伸凍結など大型開発の見直しに着手し、千葉市の財政再建に乗り出しました。また、市民との対話を重視し区民懇話会を始め、ランチミーティング、ツイッター対話会を行うなど積極的に市民の声に耳を傾け、予算の編成過程を公開するなど、市政改革に努めています。

取り組んだ重点政策

民主党は、「市民が真ん中」の市政改革、市民の問題を身近なところで解決する「区役所分権」、市民の市政に対する「市民満足度」100%をめざしました。

具体的には、子育て・教育・福祉・安全・安心など87項目の重点課題を掲げその実現のため全力を尽くしました。

<達成状況> 全87項目中 A=36 B=46 C=5

(A=実現、ほぼ実現、B=一部実現、C=未実現、検討中、その他)

活動結果の内容については、民主党千葉市議会議員団のホームページから、「民主党ローカルマニフェスト達成状況」を参照ください。

民主党千葉市議会議員団ホームページ

<http://www.minshu-c.com/chibashi/index.html>